

スローテンポ通信

第 27 号

2019年6月14日

発行:一般社団法人スローテンポ協会
〒329-0403 栃木県下野市医大前 3-7-4-3F

☎ 0285-35-2888

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

ベストセラーばかりが面白いとは限らない!



スローテンポ書店

営業: 火~土 13時~19時
日月祝日休み



☆ 今月のおすすめ

○『まなざしが出会う場所へ』

——越境する写真家として生きる
渋谷敦志著
新泉社 2019年 2000円+税



まなざしが出会う場所へ
渋谷敦志

この本は、写真家になりたての著者が、世界のいろいろな現実を見つめるなかで、独自のスタンスを築くまでの成長の物語である。写真の世界に限らず、自分探しをする人にとってとても勉強になる。



正しく伝えて人とつながる 実用文教室

文章は、対話よりも正確です。書いた文章を持ち寄って、言いたいことが伝わっているかを確認します。

木曜日午後3時~5時

参加費は資料代含めて、1回500円。

ひきこもって

なんかいられない!

社会的ひきこもりとは、社会参加をしたくてもできない人のことをいう。芸術家が制作活動に集中するためにこもる場合などは含まれない。

その原因が、本人にあるのか、社会からの排除にあるのかで、専門家たちの意見も分かれている。

昨今「ありのままの自分でよい」とする主張が人々の共感を呼び、その影響で、努力することが軽んじられているようだ。一部の若者たちの間では「自己実現」という言葉が独り歩きし、「自己実現は待っていればやってくる」ものと勘違いしている。

「ありのままの自分」に満足してしまえば、成長願望がなくなり、他人の意見を聞けなくなる。そして「今の自分が素晴らしい存在なのに、社会が受け入れないのは社会がおかしい」と思い込む。

現実とのギャップを突きつけられれば、挫折と葛藤でひきこもりになってもおかしくない。

当たり前のことだが、「自己実現」の前には、「自分は何をやりたいのか」があり、やりたいことがあれば、その実現のための努力が必要となる。

社会性やものの考え方は、人との付き合いの中で形成される。人との関りの大切さやその方法は、幼少時からの教育や訓練によって身に付ける。

教育や訓練は社会が担うものであり、その欠落がひきこもりにつながるなら、ひきこもりの原因は社会にあるといえるだろう。

いくつになっても人は成長するのだから、社会性や考え方の遅れは、いつでも取り戻せる。その一歩は自分を変えようと思うことだ。そしてどんな形ででも人と話することだ。

社会参加とは、社会の一員になることであり、自分から能動的に社会に働きかけることである。仕事をし、給料をもらって生活することもその一つだ。そしてその社会参加は、人と話すことから始まる。だからひきこもりとは、自ら社会参加を放棄した状態だともいえる。



どなたも歓迎 懇話会

社会参加は、人と話すことから始まります。参加者が話題を提供し、課題をしぼっての話し合います。

水曜日午後7時~9時、参加無料。

ひきこもっている人と話を交わそうとするとき最も困るのは、彼らが他人を受け付けないことだ。

一方的に話をしても、彼らにはお決まりの説教にしか聞こえない。質問しても答えない。

会話が成立しない人に対しては、「あなたの願いは何ですか?」とくり返すのも一つの方法だ。

「自己実現」したいなどと言ってくれば、「協力しますよ」と応じて、その中身を話し合うことができる。しかし、ひきこもりは、不満を並べることはあっても、どうしたいのかを言わない。

会話が成り立たない人は他にもいる。現実に対する疑問を封印し、この社会が敷いたレールにしがみついて生きてきた人の中に多い。自分が本当にやりたいことがないのである。そんな人は、社会的地位のあるなしに関らず、社会経験や年齢の枠を超えて存在する。

自分にとって最も大切なものがおカネだという人も同じである。極端に言えば、あてがわれた人生の見本以外は見えないのである。

彼らも「自分は間違っていない」と信じ、別の意見を受け入れない。他人と会話を交えるが、ごく表面的で、決して自分の枠を超えようとしない。そこにひきこもりと共通点がある。

人は、社会の中に自分の居場所を見つけようとする。「自己実現」とは、自分が満足する居場所を見つけたり、自らつくり出すことに他ならない。それを別の言葉でいえば、自分が満足できる社会参加の形を見つけ出すことになる。

ひょっとするとひきこもりは、現実の歪んだ社会には自分の居場所はないし、つくれないと達観したのかもしれない。もしそうなら、「まだまだ世の中、捨てたもんじゃありませんよ」と言いたい。

仕事をする人も社会活動する人も、いろいろな他人と関り、疑問を抱き、挫折し葛藤し考え、きっかけをつかんで成長する。そしてその過程で、自分が本当にやりたいことを再発見していく。自分の世界感が確立していくのだ。

ひきこもっている人は、まずは、誰でもよいから身近な人に話しかけるだけでよい。そうしているうちに、自分の世界が少しずつ広がり、やがて、やりたいことができれば、じっとしてはいられなくなる。N

* * * * *